



【特集】

技

23年目のリニューアル

「良いものを残しつつ、最新の設備へ」

● 工事前の不満点

「大雨の日には、水が屋根から溢れていました。」富山県高岡市在住の大森さんはリフォーム前の状況を話してくれた。「軒下をつたって玄関前は水浸しになるし、樋から水がポタポタ漏れていました。」



▲軒樋リフォーム前

造りをしてい
る。その孔に
雨水が収ま
り樋へと流れ
出る仕組みだ。

23年前の建設当時、外観をすっきりさせるため設計士の薦めで、この瓦が選ばれた。しかし、小雨程度であればまだしも雨量の多い日には、収まりきらなかった水が屋根から勢よく溢れ出て軒先をぬらしていた。そして今年に入り、腐食のすすんでいた銅製の軒樋から水が漏るようになり、状況はさらに悪くなった。

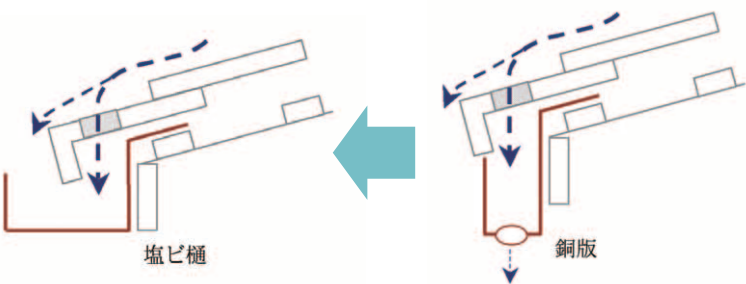
「長く静観していましたが、家内も同じように思っていると分かり、リフォームを決定しました。」不満点は屋根だけでなく至る所に及んだ。昔であれば充分に満足できたお風呂やキッチンも、様々な経緯により最新の設備へ更新された。

● 使えるものを残して対応

屋根の工事では、使えるものは残すとの考



▲軒樋リフォーム後 溢れた水も受け止める。



▲キッチンリフォーム後 台は住み手に合った高さへ。



▲キッチンリフォーム前



▲お風呂リフォーム後 システムバスで暖かい印象へ。



▲お風呂リフォーム前 タイル張りで冷たいお風呂。

● 暖かい空間へ

昔の風呂はタイル張りで乾きにくく、どこか冷たい。大森邸も同様で「あたたかくして欲しい」とのご要望だった。カタログではイメージが湧かないため、住宅機器メーカーのショールームで好み

の設備が選択された。システムバスを入れたことで断熱効果が格段に上がっただけでなく、浴室内の乾きも早くなっている。そして、何より明るくなった。以前のキッチンは「高さが低くて腰が痛くなる」ため、住み手に合った高さのキッチン台へと更新された。長年の生活でシミのついてきたクッションフロアはフローリングになった。(技ネット)

今月のオーナー訪問



大森邸

「期待以上です。」

こんなに良い仕上がりになるのなら、もっと早く工事すればよかったと思っています。家の中は全体的に明るくなりました。電気がついてくるのかな、と間違えうくらいです。一番気になっていた屋根の問題も、心配しなくてよくなりました。お風呂場も暖かくなり、また、すぐに乾くので毎日いい気持ちです。

以前、技のリフォームさんに物置の工事をお願いした時、基礎がしっかりしていたので安心してお願いしました。今回も、工期内に終わってくれて満足しています。



技のリフォーム

イワサ ミセマス
0120-183-304